

公共交通の 活性化に向けて

● 地域の公共交通活性化を支援します ●



どうほくろっ犬

- ・2002年7月生まれ(4さい)
- ・東北運輸局の管轄が東北6県に拡大するとともに誕生。
- ・形は東北の形を、色はビーグル犬の配色で県を示す。
- ・ポシェットには各種交通機関等が入っている。



国土交通省

国土交通省東北運輸局

公共交通活性化総合プログラム

地域再生
の推進

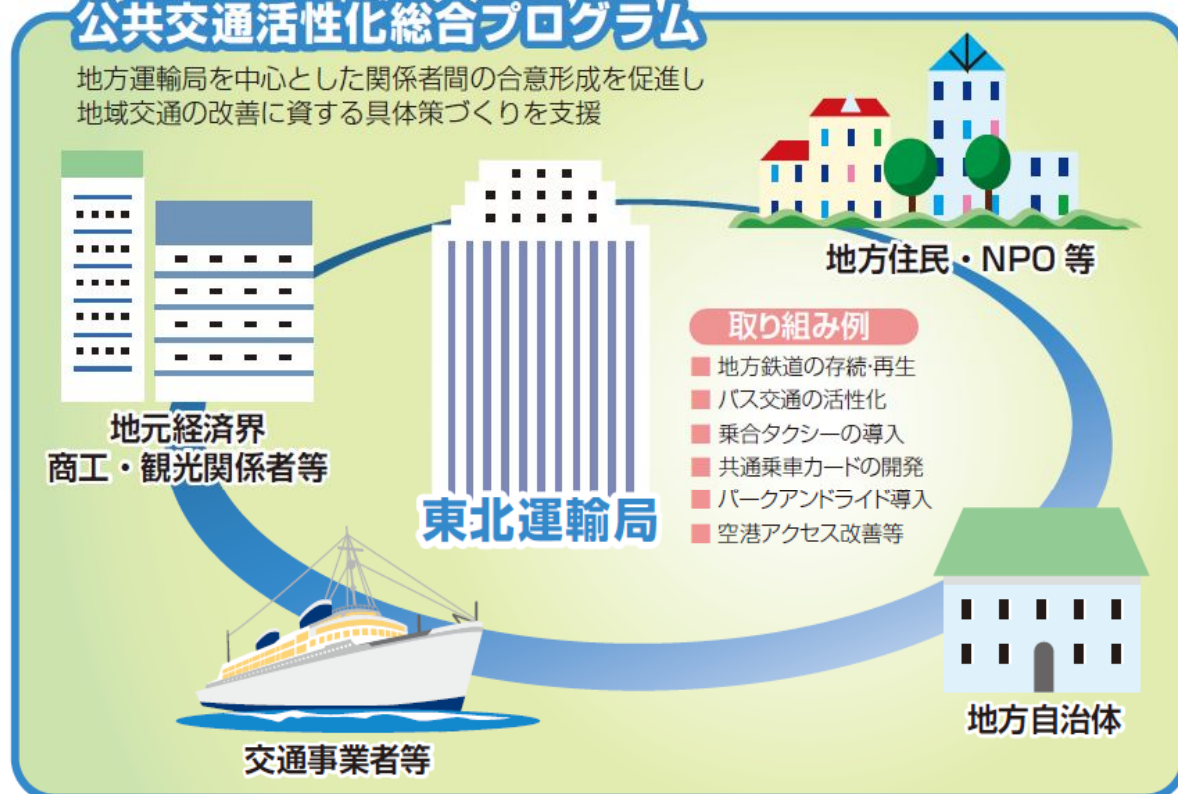
高齢社会
への対応

環境対策

公共交通の活用及びその維持・
活性化、改善の必要性

公共交通活性化総合プログラム

地方運輸局を中心とした関係者間の合意形成を促進し
地域交通の改善に資する具体策づくりを支援



平成18年度公共交通活性化総合プログラム採択案件 (東北運輸局関連)

■カーフェリーを活用した広域地域振興プロジェクト	青森市
■八戸市における持続性の高い地域交通実現のための再編モデル実証実験	八戸市
■過疎地における生活支援輸送とからめた生活交通体系の構築による公共交通活性化プロジェクト	北上市
■仙台都市圏交通改善・仙山圏交流促進プロジェクト	仙台市等
■バリアフリーボランティア事業	仙台市
■「いわき市」を中心とした地域交通の再編・活性化プロジェクト	いわき市
■県都福島観光交流活性化プロジェクト	福島市

施策例 鉄道・バス共通フリー乗車券の導入促進

施策の概要

公共交通機関を利用した観光周遊を促進するために、地域内の鉄道・バスを1枚のカードで自由に乗り降りできる共通フリー乗車券の導入を支援しています。

このようなフリー乗車券の導入により、乗換の度に乗車券を購入する手間を省け、利用者の利便性が向上します。

さらに、乗車券の価格を低廉にするとともに、地域内の観光施設や飲食店などの割引特典をつけることにより、魅力を高め、観光振興と交通の円滑化を実現します。

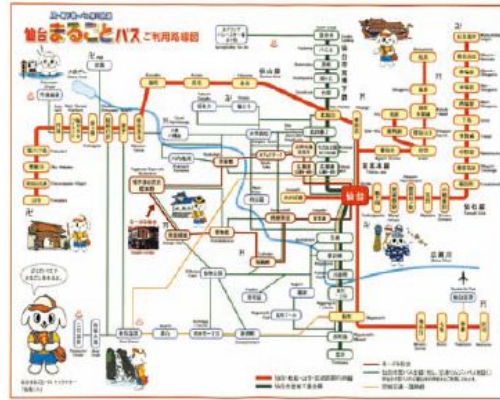
実施例

	会津ぐるっとカード	仙台まるごとバス	八戸えんじょいカード	津軽フリーバス
対象エリア	福島県会津地区 16市町村	宮城県仙台市、松島町等7市町村、山形県山形市(山寺)	青森県八戸市	青森県津軽地区6市町村
価格・期間	大人2,600円(2日間有効)	大人2,500円(2日間有効)	大人700円(1日間有効)	大人1,500円(2日間有効)
協賛施設数	288	129	88	145
特色	ウィーンカードにならった全国初の共通フリー乗車券として誕生し、会津地域での広域的な周遊観光に活用	杜の都仙台を中心に、日本三景松島や山形県山寺を含む広域エリアをカバー	東北新幹線の終点・八戸を1日自由に周遊	世界自然遺産・白神山方面へのエリアを加えた「プラス白神」(大人3,000円)もオプション販売
実施期間	平成15年7月～	平成16年7月～	平成16年7月～	平成17年10月～
支援メニュー	公共交通活性化総合プログラム 利用転換実証実験補助	公共交通活性化総合プログラム 利用転換実証実験補助	公共交通活性化総合プログラム	公共交通活性化総合プログラム

会津ぐるっとカードエリア



仙台まるごとバスエリア



津軽フリーバスチラシ



八戸えんじょいカード



施策例 バスの利便性向上・利用促進

■ 施策の概要

バスは、便利な「地域の足」として、また、深刻化する道路交通渋滞などの都市交通問題を解決するための切り札として重要です。

そのため、分かりやすく利用しやすい循環バスや100円バスなどの導入を支援し、バス交通の活性化を促進しています。

■ 循環バス - 導入の支援例

	会津若松市まちなか周遊バス「ハイカラさん」	弘前市循環バス	八戸市循環バス「るるっぶ八戸」
運行エリア	福島県会津若松市中心部	青森県弘前市中心部	青森県八戸市中心部
運行本数	20回/日	53回/日	13回/日
運賃	1回200円(一日券500円)	1回100円	1回200円(一日券500円)
利用者数	1日平均324.2人(16年度)	1日平均1,328人(16年度)	1日平均81.5人(16年度)
実施期間	平成13年10月～	平成15年4月～	平成15年7月～
支援メニュー	公共交通活性化総合プログラム TDM等実証実験補助制度	公共交通活性化総合プログラム バス利用促進補助制度	公共交通活性化総合プログラム バス利用促進補助制度

■ 100円バス - 導入の支援例

	仙台市「100円パック」	福島市
運行エリア	宮城県仙台市中心部	福島県福島市中心部
利用者数 (実施前との比較)	1日平均2,728人(14年度) 1日当りの利用者数平均1.5倍、 土休日1.4倍	1日平均2,336人(14年度) 126%増
実施期間	平成14年2月～平成15年9月	平成13年10月～平成15年9月
支援メニュー	TDM等実証実験補助制度	TDM等実証実験補助制度

仙台市100円パックエリア

※実施区域は、15年10月からのもの



その他の公共交通活性化策

ここまで、バスを中心とした公共交通活性化策についてご紹介してきました。東北運輸局では、このほかにも、鉄道の利便性向上やタクシーの活用などによる公共交通の活性化にも取り組んでいます。

デマンド型乗合タクシーや過疎地有償ボランティア輸送の導入



おだか e- まちタクシーなど

■ 施策の概要

バス撤退後の交通空白地帯の新たな「地域の足」として、予約により戸口まで出迎える利便性と乗合形式による低運賃をかね備えた「デマンド型乗合タクシー」やボランティア等が有償で住民輸送を行う「過疎地有償ボランティア輸送」の導入を支援。

■ 実施例

	デマンド型乗合タクシー「おだかe-まちタクシー」	過疎地有償ボランティア輸送
実施地域	福島県南相馬市(旧小高町)	山形県川西町
運行開始	平成13年6月	平成18年5月予定
運行主体	小高町商工会	NPO法人はーとサービス川西
支援メニュー	交通不便者のシビルミニマム確保のためのデマンド交通システムのモデル実験事業	公共交通活性化総合プログラム

大都市圏からの時間短縮による地方鉄道の活性化

会津鉄道の時間短縮をめざす高速化事業

■ 施策の概要

平成18年3月の新宿からJR及び東武鉄道の相互乗り入れと会津鉄道の鬼怒川乗り入れにより、首都圏からのアクセスが格段に充実することから、会津鉄道の高速化を図り、時間短縮による利用客増をめざす。

■ 実施時期

・平成17年度～(5カ年)

■ 支援メニュー

- ・公共交通活性化総合プログラム
- ・地方鉄道等活性化支援事業



乗合タクシーを活用した空港アクセスの充実



あきたエアポートライナー

■ 施策の概要

秋田空港と周辺観光地を結ぶ利便性の高い二次交通である「あきたエアポートライナー」の利便性向上(路線の拡充、集中予約システムの導入)を支援。

■ 実施時期

・平成14年10月～

■ 支援メニュー

- ・公共交通活性化総合プログラム
- ・利用転換実証実験補助制度



国土交通省

私たちは、計画段階では「公共交通活性化総合プログラム」、
実験・実施段階では国土交通省の各種補助制度等を活用
して、東北地方の皆様の公共交通活性化を支援します。

下の連絡先までご相談ください。

(東北6県外の地域の皆様は、所管の運輸局・運輸支局へご連絡下さい。)

東北運輸局

〒983-8537

仙台市宮城野区鉄砲町1番地 仙台第4合同庁舎

【企画振興部 企画課】

TEL 022-791-7507

FAX 022-791-7538

<http://www.tht.mlit.go.jp>

運輸支局

青森運輸支局	総務企画課	TEL 017-739-1501
岩手運輸支局	総務企画課	TEL 019-638-2154
宮城運輸支局	総務企画課	TEL 022-235-2517
秋田運輸支局	企画輸送課	TEL 018-863-5813
山形運輸支局	企画輸送課	TEL 023-686-4712
福島運輸支局	総務企画課	TEL 024-546-0345